

今、ペガサスが伝えたいこと。

”子どもはなぜ勉強しないのか？”

親が「勉強しなさい」と言う。
子どもが「わかっているよ」「うるさいなあ」「今やろうと思ったのに！」と答える…。

世代は変わっても、このようなやりとりは全く変わっていないようです。

ところで、そもそも **子どもはなぜ勉強しないのでしょうか？**
理由は子どもによってそれぞれで、家庭環境、精神状態、疲れなどいろいろ考えられますが、一番の原因は「**勉強に何の意味があるのかわからない**」ということかもしれません。

では、そもそも勉強に意味はあるのでしょうか？

結論から言うと、勉強には意味があります。意味がないなら国が義務教育として行うわけはありませんし、社会を知った親が「勉強しなさい」と自然に言いたくなること、もっと具体的に言うと就職試験や資格試験には小中学校で習った一般教養が多く含まれていることなど、ちょっと考えるだけでも勉強には意味があることがわかります。

ただ、「勉強」という言葉と向き合う際、「**勉強の意味は自分が見出す**」という本質を忘れがちです。

ここで2つの例を出します。

- ①「もっと勉強しておけばよかった。（大人になって）」
- ②「絶対に●●高校に行って、エンジニアになる！」

どちらも勉強の意味を自分から見出しています。ただし、①は過去の勉強について後悔の念を含んで見出しているのに対し、②は未来に向かってその意味を見出しています。

学習塾は成績アップ、入試合格が目的とされています。そういうニーズに応えるために営利目的で組織されているのだから当たり前です。最低限の仕事です。

ただ、学習塾は教育の担い手ですから、②のように「**未来に向かって勉強の意味を見出す**」を子どもたちに教えていかないと本当の意味での教育サービスにはならないでしょう。理想論にも聞こえますが、教育の本質「**自ら学ぶ**」は②のような場合にこそ、成し得ることです。

ただ、ここで疑問が出てくる方がいらっしゃるかもしれません。

②のような例は受験前だから言えるのであって、受験期以外はどうなるのか？

特に毎日感情が豊かに変わる子どもたちです。昨日、やる気があっても今日はやる気なし…ということも少なくありません。

そこで登場するのが、コンピューター学習とコーチングです。ペガサスではコンピューターとコーチングを使い分けて、教育を行います。

以後、例を挙げて、説明いたします。

松下村塾の学習スタイルを現代に活かす

幕末に生きた長州藩士で、松下村塾の主宰者として有名なのは吉田松陰です。彼のもとからは、明治維新の原動力となった高杉晋作、明治政府で総理大臣を務めた伊藤博文、山県有朋など、そうそうたるメンバーが巣立って行きました。

松下村塾では、統一的なカリキュラムは用意されていませんでした。各人が学力と好みに合わせて、勉強分野と教科書を選びました。学習法も固定されたカリキュラムで画一的なものではなく、塾生一人ひとりの個性に合わせた、きめ細かい学習支援が行えるようになっていました。現代の言うところの「個別指導学習塾」です。

また松陰は、塾生が個々に持っている才能を自ら発見し、刺激し、展開させ、実践にまで駆り立てるような、主体的な自己教育を重視しました。

ペガサスでは、松陰のこの教育手法を現代に活かすべく研究を進めてきました。



山口県文書館 吉田松陰像

先入観を捨てた教育

松陰の指導法を研究すればするほど、「完全」な個別教育ほど望ましいものはない、と確信していきます。「完全」とは1対1の個別指導を指します。しかし、これまで常識とされてきた人間が勉強を教えるという仕組みでは、採算面でかなり難しいのが現実です。

そこで編み出されたのが、「**ティーチングをコンピュータで行う**」という**先入観を捨てた方法**です。蓄積した指導ノウハウをソフト化し、「教える」部分の多くをコンピュータに任せてしまうのです。そして、塾講師は「**励ます、ヒントを与える、目標と一緒に考える、計画と一緒に立てる**」のコーチングに徹します。

こうすることで、塾講師に対する子どもの依頼心も抑えることができ、「**自ら学ぶ力**」を育めるようになります。子どもにとってもコンピュータ学習という、ちょっと変わった勉強で興味付けはもちろん、やる気を引き出すことにもなっています。

また、塾経営面を見ても、講師の人件費削減、教室の省スペース化（家賃の削減）などのメリットが出てきます。自宅を使ったミニ塾なら、家賃ゼロも可能です。

●ペガサス学習システムの無料体験はこちらから
<http://www.pegasus-fc.com/e-pegasus/taiken/>

(※学習ソフトだけの体験になります。実際は専用ノートに書く学習と合わせて指導します)

この人は自分のことを 本当にわかってきているのかな？

「この人は自分のことをわかってきている」という安心感があれば、子どもは自分とは異なる価値観を受け入れるだけの余裕を持つことができます。

親子の会話、コーチング指導でもそうですが、子どもが求めているのは、自分の考えが「合っているか間違っているのか」の判定ではありません。親や先生の「なるほどね」という言葉を待っています。

最近、「子どもが話を聞いてくれない」という言葉を耳にしますが、その原因は子どもとの会話のやりとりに問題があります。子どもの話を聞いて、受け入れ励まし、場合によっては一緒になって考える。こういう環境が少なくなってきたから子どもは安心感を持つことができないでいます。

こういう状況で「早くごはんを食べて勉強しなさい」「テストの成績はどうだった？」と会話をしているつもりで大人（親）がいれば、当然にして会話したい気持ちも閉ざしてしまいます。

塾は教育機関です。成績アップや入試合格は当たり前の仕事です。ただ、教育に関わる以上、教育の本質である「自ら学ぶ力をつける指導」をもっと真剣にやっていないといけません。

1999年のドイツのケルンで行われたサミットでは、「**これから工業化社会から知識社会**」とされ、「知識レベルの高い人間は非常にチャンスが大きくなるが、低い人間は職も収入も得られない」と明記されました。

ITによってどんどん便利になっていくこれからの時代を考えると、ロボットが働く時代になれば、人の数は少なくともいい状況が予想されます。人の数よりもむしろ、人の質の高さが問われる時代でしょう。

インターネットの検索を考えても、情報は容易に手に入り、その情報をいかに自分の知識として取り入れ、活かすかが重要なテーマになってきています。

個人レベルでも国レベルでも、やっぱり教育が根底にあることは明白です。まず、子どもを受け入れ、もっと子どもが安心できる環境、もっと元気になれる環境づくり、コンピュータによる高能率学習とコーチング指導を絶妙に組み合わせた完全個別指導サービスの実践。

ペガサス学習塾が目指すところは、**ウソ偽りなしの本物教育**です。我々の考え方にご賛同いただける方から、一緒に教育改革を行って参りたいと考えています。

最後まで読んでいただき、誠にありがとうございました。

● 学習塾ペガサス オーナー希望者専用サイト
<http://www.pegasus-fc.com/>

フランチャイズ ペガサス

検索

<http://www.pegasus-fc.com/>



完全個別指導
学習塾

ペガサス

株式会社 **ペガサスプランニング**

[福岡本社] 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目14番1号 スフィンクスセンタービル4F
社団法人 全国学習塾協会会員 社団法人 日本教育工学振興会会員 (JAPET)



フリーダイヤル 【受付】 平日AM10時~PM6時

0120-492-544